

● 認知症の人への対応 ガイドライン

- 1 驚かせない
- 2 急がせない
- 3 自尊心を傷つけない

具体的な対応のポイント

● まずは見守る

認知症と思われる人に気づいたら、本人や他の人に気づかれないように、一定の距離を保ち、さりげなく様子を見守ります。

● 余裕をもって対応する

こちらが困惑や焦りを感じていると、相手にも伝わって動揺させてしまいます。自然な笑顔で対応しましょう。

● 声をかけるときは1人で

何人かの人で取り囲むように接すると驚かせやすいので、できるだけ1人で声をかけます。

● 後ろから声をかけない

一定の距離で相手の視野に入ったところで声をかけます。唐突な声かけは禁物。

● 相手に視線を合わせてやさしい口調で

小柄な方の場合は、身体を低くして視線を同じ高さにして対応します。

● おだやかに、はっきりした話し方で

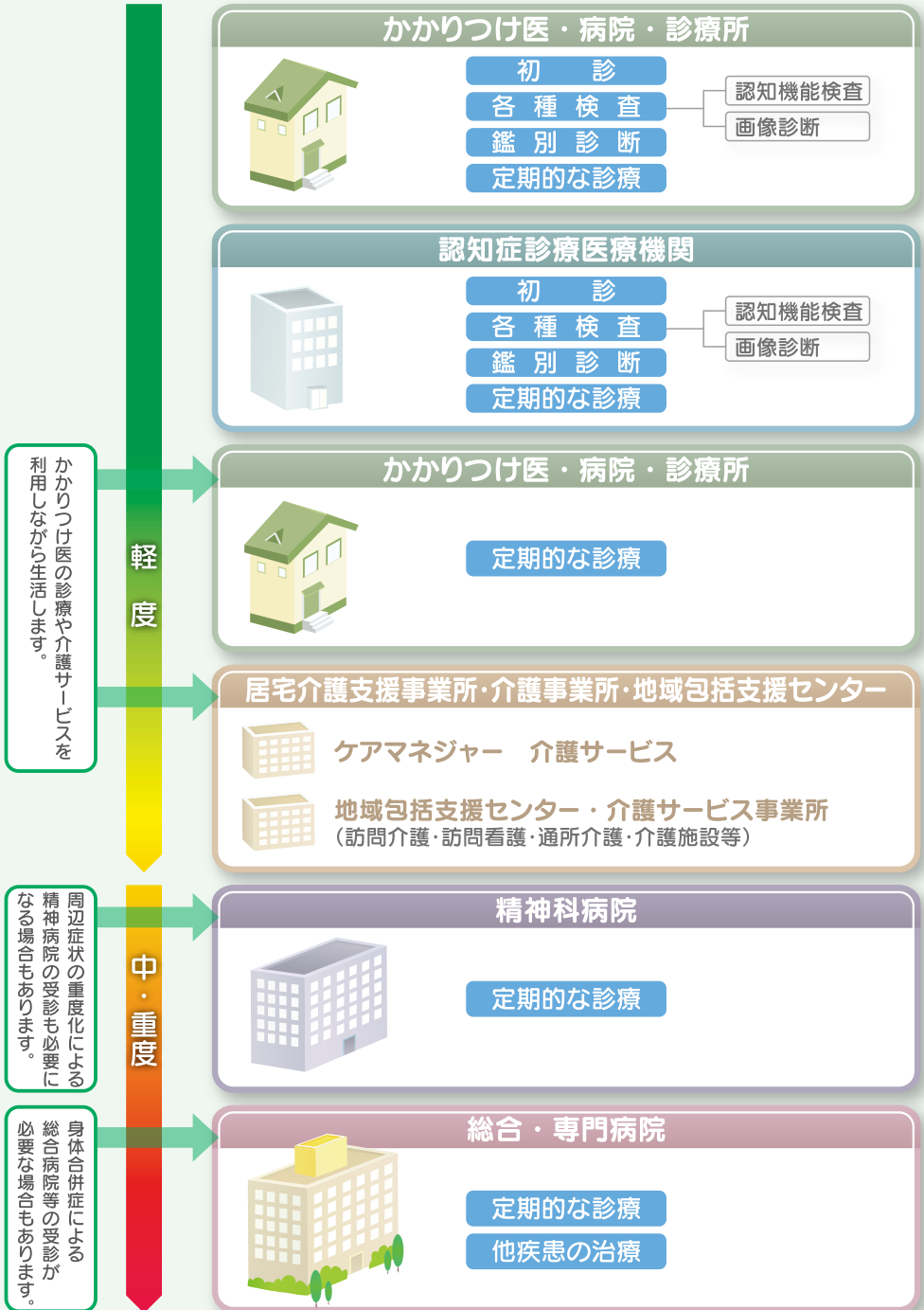
高齢者は耳が聞こえにくい人が多いので、ゆっくりとはっきりした話し方を心がけます。大声、甲高い声で一方的に話すことは避けましょう。

その土地の方言でコミュニケーションをとることも有効です。

● 相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する

認知症の人は急がされるのが苦手です。同時に複数の問いに答えるのも苦手です。相手の反応を伺いながら会話をしましょう。たどたどしい言葉でも、相手の話をゆっくり聴き、何をしたいのかを相手の言葉を使いながら推測・確認していきます。

認知症医療・介護地域連携



かかりつけ医・病院・診療所



- 初診
- 各種検査
- 鑑別診断
- 定期的な診療

- 認知機能検査
- 画像診断

認知症診療医療機関



- 初診
- 各種検査
- 鑑別診断
- 定期的な診療

- 認知機能検査
- 画像診断

かかりつけ医・病院・診療所



- 定期的な診療

居宅介護支援事業所・介護事業所・地域包括支援センター

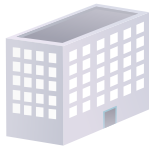


ケアマネジャー 介護サービス



地域包括支援センター・介護サービス事業所
(訪問介護・訪問看護・通所介護・介護施設等)

精神科病院



- 定期的な診療

総合・専門病院



- 定期的な診療
- 他疾患の治療

かかりつけ医の診療や介護サービスを利用しながら生活します。

軽度

周辺症状の重度化による精神病院の受診も必要になる場合もあります。

中・重度

身体合併症による総合病院等の受診が必要な場合があります。